

【教職員の業務改善】【教育1】



岡山県立高梁高等学校

2年次 ・井上奈々子・井原美咲・木村綾乃・藤井愛羽

1.背景・目的

教員の残業時間を減らしたい→教員の業務の一つである構内掲示物にフォーカス

2.実験・調査

〈川面小学校へ訪問&調査〉

- ・掲示物を作る目的
- ・飾る期間
- ・作るのにかかる時間
- ・掲示物を作ることに負担はかかっているか
- ・掲示物を高校生が作ることで他の業務に当てられる時間はどのくらい増えるのか



3.結果 実験調査の結果

掲示物を作る目的

→教室を明るくするため

児童の成果を宝物として飾るため

掲示物を飾る期間

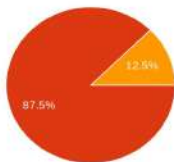
→図工や習字など授業で作った作品を約 1ヶ月

教室や廊下に飾る

掲示物を作ることに負担はかかっているか

→教員の業務の一つだから負担には感じていない

普段の校内掲示物作成において、どの程度負担を感じていますか。
8件の回答

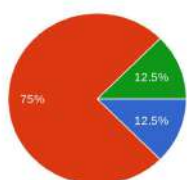


- 非常に感じる
- やや感じる
- あまり感じていない
- 全く感じていない

掲示物を高校生が作ることで他に業務に当てられる時間はどのくらい増えるのか

→時間はわからないが児童に対してや保護者対応の時間を増やすことができる

もし掲示物代行が導入された場合、その分の時間をどのような業務に当てたいですか。
8件の回答



- 児童対応
- 授業準備
- 保護者対応
- 自己研鑽
- 特に新たな時間は生まれない
- その他（自由記述）

4.考察

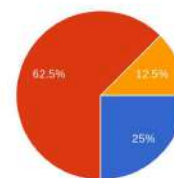
- ・掲示物は教室を明るくし、児童の作品を大切に飾る目的がある。
- ・約一ヶ月の掲示期間は、児童にやる気を保つ工夫である。
- ・二回目の訪問では、掲示物が廊下に掲示され、より多くの人に見てもらえるようになっていた。
- ・掲示物は児童の成長と意欲を支える大切な活動である。



5.結論と展望

掲示物を作成し、2回目の訪問で小学校へ渡しに行ったあと先生方にアンケートを取った。

校内掲示物代行の導入について全体的にどのように考えていますか。
8件の回答



- 積極的に導入すべき
- 一部に限定して導入すべき
- あまり必要ない
- 全く必要ない

高校生が先生の代わりに掲示物を作って先生方の負担がどのくらい減るのか具体的な数値はわからなかったが、高校生のセンスで作ることによって小学生へのいい刺激になることや、先生方にとっても視点を広げるきっかけになって助かると言ってくれた。

その他にも、貼るのも手伝ってほしい、事前の打ち合わせなどの時間を確保することが難しい、などの意見も頂いた。



6.参考文献

・高梁市立川面小学校

・令和6年度教員の勤務実態調査結果について

<https://www.pref.okayama.jp/uploaded/attachment/373823.pdf>